

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和6年度) 2024年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	4	28	日	9:00	11:30	太田ヶ谷の森	10
活動名称	第4回大谷川ホタル幼虫放流とタケノコ掘り					報告者：小沼	

イベント活動の場合の参加者数 (約100人)

<活動目的>

今回で4回目となる太田ヶ谷の森作りグランドワークと脚折第3自治会子ども会共同主催による大谷川でのホタルの幼虫放流とタケノコ掘りを実施した。

<主な活動内容>

<ホタルの幼虫放流>

- 脚折で長年ホタルを飼育している高沢公男氏の指導のもと、ヘイケホタル170匹、ゲンジホタル10匹、計180匹を大谷川に放流した。
- ・紙コップにホタルの幼虫・タニシ・カワニナを入れたものを参加した子ども達に身近でよく見てもらった後、紙コップから柄杓に入れ大谷川に放流した。
- ホタルが出る時期は6月初旬頃からとなる。
- 6月8日(土)、大谷川でホタル観察会を開催し、その時、高沢さんが飼育している成虫ホタルをかごに入れて持参する予定とのこと。

<タケノコ掘り>

- ホタル放流終了後、森の竹林へ移動し、タケノコ掘りを開催した。
- 同竹林は、4月21日(日)にタケノコ掘りイベントがあったこと、また、盗掘もあったことからタケノコ数が不足する恐れがあったため、4月20日(土)の五味ヶ谷タケノコ掘りで調達した25本と地元からの補充20本の計45本を事前準備した。
- 多くの家族は2本程度のタケノコ掘りを体験できていた。
- 事前準備していたタケノコとぬかは参加者に持ち帰ってもらった。

<課題・評価>

天気も良く参加者数は25組74名でスタッフ数を入れると100名程度とイベントとしては盛況であった。ホタルの定着はまだ達成しておらず、自然界での自生の難しさを感じるころである。

<里山参加会員>

(後方) 阿部、小澤邦、小沼、小嶋、金

(前方) 伊佐山、柳川、松井 (鈴木勝、柏木)

<活動写真>



